

自主防災組織等パワーアップ講座

日 時 平成27年9月12日(土)12時30分～16時00分

場 所 加古川市防災センター

対 象 自主防災組織のリーダー、自治会役員等 各市町6名程度

主 催 兵庫県東播磨県民局

委託先 特定非営利活動法人 兵庫県防災士会

協 力 加古川市消防本部中央消防署、加古川市防災センター

内 容

12:30 開会

12:35 避難所運営体験(HUG) + 防災講義(家具固定・避難方法について)

14:45 休憩・着替え

15:00 激流・豪雨体験

16:00 閉会

避難所運営体験(HUG)

各市町ごとにテーブルに分かれて、HUGを実施しました。まず、各テーブルでは防災士がカードを読み上げ、参加者がそのカードの内容についてどのように処理すべきかを考え、避難所をイメージした白紙にカードを配置しました。また、各班で問題になったことについても発表してもらいました。



HUGについての説明



各市町別にHUGを実施



HUG実施中



HUG実施中



HUG実施中



HUG実施中

防災講義

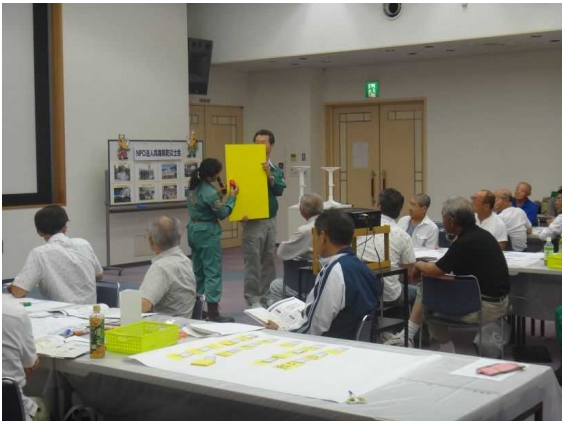
実際の家具を用いてどのように家具固定器具を設置すべきかを講義しました。また、壁のむこうに隠れた柱を見つける道具についても使用方法を紹介しました。参加者の多数が家具固定をされておられず、家具固定について考える機会となりました。



家具固定道具の設置方法の説明



家具固定道具の設置方法の説明



家具固定のための柱探知機の実演



スクリーンでの家具固定の説明

激流・豪雨体験

加古川市中央消防署の指導のもと、激流・豪雨体験を行いました。最初に防災士に見本を見せてもらい、参加者にその様子を確認してもらってから行いました。まず、滑りやすい長靴を履きながら傘をもって歩行してもらいました。その後、傘なしで運動靴を履いて歩行してもらい、運動靴で歩行したほうが避難しやすいことや流水の中の避難が困難であることを体験してもらいました。



消防士(加古川市消防本部中央消防署)による体験前説明



防災士による見本歩行



参加者による傘での長靴歩行
(防災士がサポート)



参加者による傘での長靴歩行
(消防士・防災士がサポート)



参加者による運動靴での歩行



消防士による「運動靴で避難すべきこと」についての説明